

鎌 総 第 1671 号

平成30年 8 月28日

鎌倉市議会議長

中 村 聡 一 郎 様

鎌倉市長 松 尾



文書質問への回答について

標記の件につきまして、別紙のとおり回答します。



事務担当

総務課総務担当 (内線2242、2243)

議会受付番号	文書質問第8号
質問者	長嶋 竜弘議員
答弁する者	市長 (行政経営部公的不動産活用課) (防災安全部総合防災課)

## 文書質問に対する答弁書

鎌倉市議会基本条例第7条第3項の規定に基づく文書質問第8号の質問について、次のとおり答弁いたします。

### 1 質問の内容

平成30年8月1日号“広報かまくら”に、鎌倉市ホームページの更新日が2016年11月4日となっているハザードマップを掲載したが、何故、平成30年1月26日神奈川県告示の境川水系洪水浸水想定区域図（想定最大規模）のハザードマップを掲載しなかったのか。

本庁舎移転の重要な案件を扱っている中で、深沢の本庁舎移転予定地が浸水想定区域に入っている事を市民の皆様に伝えるべきであるのに、それを行わなかった事は重大な問題である。合わせて想定が変わり変更になった事の説明責任もあるはずだが説明されていない。この事について説明願いたい。

### 2 質問の理由

平成30年8月1日号広報かまくら掲載のハザードマップは、鎌倉市ホームページの更新日が2016年11月4日となっている。このハザードマップでは深沢の本庁舎移転地は浸水想定区域に入っていない。しかし、平成30年1月26日神奈川県告示の、境川水系洪水浸水想定区域図（想定最大規模）では、深沢地域整備事業用地は0.5m～3mの洪水浸水想定区域になっている。

また、第1回本庁舎等整備委員会資料には以下記載がある。

柏尾川沿いよりも行政施設用地は約3m高いため、浸水想定は現況で0m～1.5m程度となるが、区画整理事業で行う整地によって浸水しないように整備する予定である。

今までも津波の想定など、更新された場合その情報を提供してきたはずである。市民の皆様への命と安全を守る為にもそうする事が当然であるが、更新された情報を広報かまくらに掲載せず隠した事は重大な問題であるので質問する。

### 3 答弁

平成30年7月上旬、西日本を中心に豪雨災害が発生し、各地に甚大な被害をもたらしました。

鎌倉市においても、市民の皆さまに豪雨災害の脅威について改めて認識していただき、災害から身を守るための備えをお願いする必要があると考え、洪水・内水ハザードマップや地区別危険箇所マップを今一度確認していただくよう、広報かまくら8月1日号により周知・啓発を図ったものです。

なお、本年1月に神奈川県が「河川の氾濫による洪水浸水想定区域図」を見直し、従来の計画規模降雨（確率規模100分の1程度：およそ100年に一度の降雨）から、想定し得

る最大規模の降雨量（確率 1000 分の 1 程度：およそ 1000 年に一度の降雨）とした結果を公表しており、これに伴って本市の一部の区域に係る洪水浸水想定が変更となったため、神奈川県最新の情報の入手先を併せて掲載いたしました。

神奈川県が公表した境川水系洪水浸水想定区域図（想定最大規模）では、深沢地域整備事業用地行政施設用地は、0.5m～3.0m未満（一部浸水なし）の想定となっています。

しかし、行政施設用地は深沢地域整備事業用地の中で最も高い地盤に位置（柏尾川沿いから約 1.5～3.0m高い）すること、土地区画整理事業として、土地の嵩上げも行う予定であることから、浸水する可能性は低いものと捉えております。